

(3) 諏訪地域 ～地の利を活かし 人を育む 豊かで活力あふれる 諏訪の農業・農村～

重点戦略1：高品質・安定生産による信州諏訪ブランド構築 (ハヶ岳西麓地域)

目標指標	H22 基準年	H26		H29 目標年
		計画	実績	
セルリーの出荷数量	7,759t	9,100t	9,400t	9,000t
トルコギキョウの出荷本数	2,186 千本	2,440 千本	2,482 千本	2,250 千本
農業用水の安定供給が確保される農地面積 (累計)	220ha	400ha	0ha	830ha

<施策の取組状況>

○ セルリー等の夏期高温対策の推進

- 高標高地ほ場の確保のため、5月と8月に、関係者による検討会議や県農政部との打合せ等を実施し、課題の整理や今後の取組の検討を行いました(検討会等3回)。
- 耐暑性品種試験ほ場に定植された100株の候補株から、8月7日に選抜株を試験場に移植し採種栽培を行いました。前年度の採種株から種子が採種できたので、翌年から現地での実証を行います。また、この取組状況を生産者に情報提供しました(優良系統2系統選抜、情報提供回数3回)。

○ トルコギキョウの生産拡大とキク産地の再構築

- 機械定植実証展示ほを設置し労力軽減の可能性を探りました。(1か所) また、秋出荷量の確保を目的としたシェード栽培の普及率が上がり、10月以降の出荷量が前年比152%の596千本の大幅増となりました。
- 県オリジナル品種について、普通・抑制作型の実証展示ほ場を設置し(2か所)、切り花の品質と収量、収益性を確認しました。品質はまずまずで単価も159円でしたが、花数不足と花色が薄いことが課題でした。
- トルコギキョウの冷房育苗施設導入の検討を行い、育苗ハウス建設用地の確保等、抜本的な対応の必要性が明確となりました。
- 昨年導入したキク移植機の導入効果の聞き取り調査を5月30日に行うとともに、事業評価シートを作成しました(調査戸数5戸)。

○ そばの生産安定と新品種導入推進

- そばの生産安定と品質向上のため、適期収穫や排水対策の指導会を開催しました。(指導会7会場) 排水対策の実施により収穫量の向上が図られました(平均収量60kg/10aに対し対策実施ほ場100kg/10a)。

○ 「おいしい信州ふーど(風土)」としてPR・発信強化

- 5月20日に「おいしい信州ふーど(風土)諏訪地域協議会」を設立し、上諏訪温泉朝市や県植樹祭など各種イベント等でおいしい信州ふーど(風土)のPR(7回)やアンケート(2回)を行いました。また、PR用の冊子(農産物、直売所の紹介)を作成しました(PR冊子4,000部)。

○ 農業水利施設等の計画的な整備・更新

- 県営かんがい排水事業の実施により、「一ノ瀬汐」及び「滝之湯堰」の改修を進めました。(一ノ瀬汐135m、滝之湯堰563m)

<今後の展開方向>

- セルリー耐暑性品種試験ほ設置による品種選抜と検討会の開催
- トルコギキョウの大苗定植実証ほ場の設置等による出荷期延長と品質向上
- Iターン就農者を中心とした花き栽培者の確保と研修会等による資質の向上
- おいしい信州ふーど(風土)のPRのための試食会、PR活動の実施
- 県営かんがい排水事業による「一ノ瀬汐」の改修完了と「滝之湯堰」の改修延伸



【トルコギキョウの新品種】

重点戦略2：効率的な水稻生産と地域特産品目の振興（諏訪湖周辺地域）

目標指標	H22 基準年	H26		H29 目標年
		計画	実績	
稲作大規模経営体への農地利用集積面積	147ha	170ha	161ha	195ha
遊休農地の再生・活用面積（累計）	16ha	31ha	26ha	50ha

<施策の取組状況>

- **農地中間管理事業等を活用した水田の利用集積による稲作経営の効率化と適期収穫による良質米生産の推進**
 - 市町村担当者会議や農業者の集まるイベントにおいて農地中間管理事業のPR活動を行うとともに、市町村を個別に訪問し、事業の推進を行いました（PR活動2回、市町村説明3回）。
 - 積算温度の活用による出穂期、刈り始予測の提供や青空指導会の開催、適期刈取りの徹底指導等により良質米生産を推進しました（情報提供6回、指導会10回、一等米比率97%）。
- **遊休ハウスを活用した施設園芸の新規就農者確保**
 - 空きハウスの情報提供による仲介を行いました（1回）。
- **流通・販売・利用の拡大による地域特産物の生産拡大**
 - 地域特産の上野大根（信州の伝統野菜）、後山地大根の規格外品の有効利用のため、飲食店で新たな商品化を行ったほか、新そばまつりに合わせた活用を行いました（活用店舗 延べ15店）。
- **地域特産物の導入による遊休農地の解消**
 - 岡谷市で遊休農地に新たにブルーベリーを栽植しました。（新植面積2a）遊休農地に作付された岡谷市、下諏訪町のブルーベリーほ場の巡回や講習会を開催しました。（ほ場巡回5回、講習会1回）
- **りんご新しい化栽培、地域オリジナル品種の拡大**
 - 良質なりんごフェザー苗の育成を指導するため、生育調査やほ場巡回指導の実施のほか、管理指導カルテの作成を行いました（巡回指導5回、カルテ作成3戸）。また、「すわっこ」の作付拡大検討会等を開催しました（検討会等2回）。



【ブルーベリー剪定講習会】

<今後の展開方向>

- 農地中間管理事業の周知による大規模経営体への利用集積促進
- 上野大根等の漬物以外の利用事例拡大による消費・生産拡大支援
- 遊休農地の解消、発生防止のためのブルーベリー・そば等の作付拡大及び技術向上、定着化支援

重点戦略3：人・農地プランの担い手経営体を主体とした担い手の確保・育成

目標指標	H22 基準年	H26		H29 目標年
		計画	実績	
40歳未満の新規就農者数（単年度）	10人	19人	14人	19人
人・農地プランに位置づけられた担い手経営体数	0経営体	185経営体	382経営体	230経営体

<施策の取組状況>

- **人・農地プランの実行及び関連支援施策の推進**
 - 茅野市を重点支援地区に指定し、現地支援チームによりプランの見直し等に対する支援を行ったほか、その他市町村のプランについても見直しや取組に対する支援を行いました（現地支援チームによる打合せ等3回、茅野市内の検討会支援9回、他市町村等支援5回）。
 - 人・農地プラン関連支援施策である青年就農給付金（経営開始型）の活用等により、担い手経営体の確保及び経営改善を支援しました（青年就農給付金経営開始型33名、うち新規5名）。

- **相談活動、里親研修制度等活用した新規就農者の確保**
 - 就農支援連絡会を開催し、新規就農者の受け入れ体制づくりを行ったほか、個別の就農相談により新規就農者の確保・育成を行いました（連絡会3回、就農相談者数36名、相談会延べ84回）。
 - 里親研修生に対する基礎技術等の習得支援や青年就農給付金受給者に対する指導を通じて、就農に向けた準備を支援しました（里親研修者 新規2名、継続2名、支援金給付者（準備型）4名）。
- **各種セミナー、巡回指導による資質の向上**
 - 新規就農者を対象としたフォローアップセミナーを開催し、新規就農者の資質向上を支援しました。（基礎講座4回・5人、簿記講座7回・7人）
- **集落営農組織の園芸作物導入支援**
 - 集落営農組織の経営安定のため、夏秋イチゴについて、定期的な巡回指導や栽培指導会を実施し、優良株の確保と収量向上を支援しました（巡回指導13回、栽培指導会2回、生産量昨年比1.5倍）。
- **企業の経営志向への誘導とセミナーによる資質の向上**
 - 青年農業者を対象に毎月巡回を行い、課題解決支援、経営分析を行いました。（対象農家6名）また、法人化を目指す者を対象に法人化セミナーを開催しました（セミナー2回、MBA研修参加2名）。
- **女性の農業経営や地域活動への参画促進**
 - 新規就農女性を対象に農業経営や暮らしの向上のためのセミナーを新たに開催しました（4回・3人）。また、昨年までのセミナー受講者を対象に研修会、講習会を開催しました（4回・6人）。

＜今後の展開方向＞

- チェックシートを活用した人・農地プランの見直しと実践支援
- 新規就農者の個別相談や巡回による基礎習得と就農支援及び各種セミナーの開催による資質向上支援
- 樹園地継承のためのアンケート実施と課題把握、検討会の開催
- 企業の経営を目指す者への経営分析能力向上支援
- 女性の農業経営参画等を進めるためのセミナーの開催及び家族経営協定の締結に向けた支援



【女性農業者セミナー】

重点戦略4：諏訪湖と共生する環境にやさしい農業の実践

目標指標	H22 基準年	H26		H29 目標年
		計画	実績	
エコファーマー累積新規認定数	1,030人	1,080人	1,070人	1,300人
信州の環境にやさしい農産物認証面積	68ha	89ha	94ha	110ha
環境保全型農業直接支援対策面積	0ha	13ha	15ha	42ha

＜施策の取組状況＞

- **エコファーマー認定制度への組織や農作物直売所単位での取組の推進**
 - 直売所出荷者を対象とした研修会や説明会を開催し、エコファーマーの認定を進めました（研修会3回、新規認定8名）。
- **信州の環境にやさしい農産物認証への取組支援**
 - 50%削減技術実証ほの設置による水稻の栽培講習会の開催やブロッコリーの生育、品質調査、現地検討会、結果報告会等を開催しました（実証ほ設置2か所、現地検討会等2回、成績検討会4回）。
- **環境保全型農業直接支援対策への取組支援**
 - 申請受付時に取組方法の周知を行うとともに、次年度の取組拡大に向け、取組事例の聞き取り及び抽出検査を行いました（受付説明会2回、抽出検査4回）。
 - 信州の環境にやさしい農産物認証制度への申請拡大のため、リーフレットの配布及び説明を行いました（リーフレットの配布等2回）。
- **花きオリジナル肥料を用いた減肥の取組の拡大**
 - 花きオリジナル肥料（エコカーネ）の肥効確認実証ほを設置し、実用性が高いことを確認し、普及拡大を図りました（実証ほ設置2か所、成績発表会3回、普及率90%）。

○ **施肥量削減技術の検討・普及**

- セルリー専用肥料と既存肥料の生育比較のための試験ほ場を設置し、収量調査を実施しました（試験ほ場の設置1か所）。

○ **GAPの導入支援**

- 直売所や野菜集荷業者、JA集出荷所及び出荷者等を対象とした研修会を開催し、GAPの導入を推進しました（研修会6回）。

<今後の展開方向>

- エコファーマーの取組を始めた直売所での認定数の拡大及び新規直売施設での取組促進
- 水稲とブロッコリーに加えて果樹の50%削減実証ほを設置し、取組の拡大及び認証取得の推進
- 環境直払制度及び認証の取組拡大のための制度周知や説明会の開催
- キク用オリジナル肥料の肥効確認実証ほの設置等による適正施肥量の把握と利用面積の拡大
- セルリーにおける施肥量削減のための調査ほ設置による肥料成分検討
- GAP導入のための説明会、実践研修会の開催



【ブロッコリー検討会】

重点戦略5：他産業との連携等による付加価値向上と地産地消による農業理解の醸成

目標指標	H22 基準年	H26		H29 目標年
		計画	実績	
六次産業化法に基づく総合化事業計画の認定数	0件	7件	7件	5件
農産物直売所の販売額	17億円	18億円	17億円	19億円

<施策の取組状況>

○ **他産業との連携や加工による付加価値向上、販路開拓への支援**

- 諏訪地域6次産業化推進会議の開催や事業推進に向けた研修会、認定事業者の巡回、新規認定者の相談等の個別支援を実施しました（推進会議1回、研修会2回、相談会1回、個別相談等支援20者）。
- 商談会への参加支援やマッチングにより販路開拓を推進しました（取引開始9件）。

○ **学校給食への地元農産物の供給拡大**

- 給食関係者へのメニュー提案、交流会の開催、イベントでのPRを行い、地元農産物の利用拡大を推進しました（交流会2回、イベントでのPR2回）。

○ **農作業体験や対面販売など消費者、観光客との交流による顔の見える関係づくり支援**

- 「上諏訪温泉朝市」の活性化のため、運営等の支援を行いました（朝市16回、5,722人来場）。
- 岡谷市のブルーベリー園では直売所の整備、下諏訪町では観光利用に向けた取組が始まりました。

○ **地域特産品や新品目開発による農産物直売所の魅力向上支援**

- 直売所の魅力向上と売上額増を進めるための、直売所や加工所を対象とした研修会の開催や、魅力向上セミナーの開催、直売所マップの作成を行いました（研修会2回、セミナー3回）。

○ **「おいしい信州ふーど(風土)」を始めとする地元農産物のPR、地産地消による消費者の理解増進・共感醸成**

- 地元食材の魅力に住民自らが再認識するための情報発信のため、温泉朝市でのイベントの開催やアンケートを実施しました（朝市イベント7回、アンケート2回）。
- 商工観光関連団体と連携して、マッチング交流会の開催や、地元飲食店と連携した新たな直売活動、商品開発のマッチング支援を行いました（交流会2回、直売活動1件、商品開発1件）。

- 学校給食や飲食店への「おいしい信州ふード（風土）」周知と情報提供のため、栄養士へのメニュー提案会や飲食店との交流会、イベントでのPR活動を行いました（メニュー提案会2回、交流会1回、PR活動3回）。

＜今後の展開方向＞

- 6次産業化に関する個別相談や研修会の開催
- 学校給食への地元農産物利用拡大のための交流会の開催、情報提供
- 直売所の魅力向上と売上額増加のための研修会の開催
- 地元農産物のPRのための情報発信や交換会の開催



【朝市における地元産りんごのPR】

重点戦略6：活力に満ち、こころ安らぐ美しい農村づくり

目標指標	H22 基準年	H26		H29 目標年
		計画	実績	
集落等が地域ぐるみで取り組む保全活動面積	2,012ha	1,956ha	2,272ha	2,536ha
農業用水を活用した小水力発電箇所数(累計)	0箇所	1箇所	1箇所	1箇所
野生鳥獣による農作物被害額	6,067万円	4,500万円	4,030万円	4,200万円
農地等の安全が確保された面積（累計）	9ha	15ha	5ha	15ha

＜施策の取組状況＞

- **美しい農村の維持・創造のための多面的機能支払、中山間地域農業直接支払等による共同活動の推進**
 - 農業・農村の多面的機能の維持・増進を図るため、取組組織の増加に向け、未実施地域への説明会を重点的に実施しました（説明会6組織、共同活動の取組33組織）。
 - 中山間地域農業直接支払の拡大のための働きかけを行い、共同活動の支援を行いました（49協定）。
- **景観や生態系に配慮した水路等の施設整備**
 - 滝之湯堰の改修にあたり、自然石を使用した石積水路を整備しました（整備延長389m）。
- **自然エネルギーや農村資源の利活用の促進**
 - 農業用水路を利用した小水力発電の導入を検討している事業者からの相談に対応しました（相談会延べ11回、施設管理者との調整会議1回）。
- **侵入防止柵設置や広域的な鳥獣被害防止対策の推進**
 - 広域的な被害防止のための侵入防止柵設置支援や、展示ほ設置などによる効果の実証を行いました。（侵入防止柵設置延長14,469m、展示ほ設置2か所）
- **老朽化した水路やため池の決壊等の被害を防止する施設の整備**
 - 県営ため池等整備事業の実施により、「大婦奈ため池」の改修を進めました（取水施設工1箇所）。

＜今後の展開方向＞

- 多面的機能支払の円滑な実施と取組面積拡大のための説明会等の開催
- 中山間地域農業直接支払制度の切り替え時を活用した新たな取組促進
- 新たな小水力発電施設設置に向けた相談会等の開催
- 野生鳥獣害防止のための広域的侵入防止柵の設置、くくり罟等の導入促進
- 県営ため池等整備事業による「大婦奈ため池」の改修完了



【自然石を使用した石積水路】